

当協会が「船員の日」感謝の会に招かれました

2026年6月25日（木）、当協会は外航海運を代表して国土交通省が主催する「船員の日」*感謝の会に招かれ、当協会から中西智章氏（船長）、渡邊大氏（機関長）の2人が出席しました。

同会では初めに金子国土交通大臣から「四面を海に囲まれた我が国において、食料やエネルギーなどの物資は国際海運により支えられており、国内においても人流物流の両面にわたって重要な役割を果たし、我が国の経済活動、国民生活に必要な海上輸送に携わるすべての船員に対して心より感謝をします」「特に中東情勢について、当たり前と思っていた船による輸送がひとたび滞れば、社会機能を停止させかねない極めて重要で、貴重な基盤であるということに再認識した」「ペルシャ湾内に留め置かれて、今この時にも高い緊張感の下で任務に当たっている船員の皆様、またこれまで任務に当たってこられた船員の皆様に、心からの感謝を申し上げます」等、船員への感謝の言葉が述べられました。続いて外航船員を代表し、中西船長より、常日頃国土交通省や海上保安庁の皆様から航行安全や海の安全確保にご尽力頂いていることが船員にとって安心安全に繋がるとともに業務上大きな支えになっていること、船員の確保育成や労働環境改善等を進めて頂いることなどに対して感謝の意を示しました。その後、金子大臣から参加した船員1人1人に花束が贈呈されました。

日本の輸出入貨物の約99.5%（重量ベース）を担う海上輸送が私達の暮らしや産業を支えており、その土台を担っているのが外航船員です。当協会は今後も船員の皆様が安心安全に力を発揮できるよう、環境整備を続けていきます。

* 2010年に国連の専門機関である国際海事機関（IMO）が、世界中で海上輸送を支えている船員に対し深い感謝と敬意を示す日として、毎年6月25日とする旨定めた日。



中西船長



渡邊機関長



記念撮影